

(概要版)

# 自分のよさを伸ばそうとする児童を 育成する道徳指導の工夫

—3つの過程をもつ総合単元的な道徳学習  
「自分、さい発見」の実践を通して—

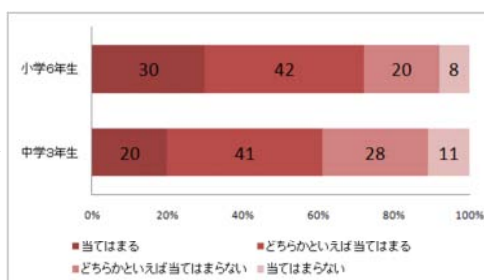
長期研修Ⅱ 研修員 井上 早苗

## 現状と課題から

### 現状

平成19年度全国学力学習状況調査において、右図のように「自分にはよいところがある。」という質問に対して「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた回答は、小学校6年生では72%である。しかし、中学3年生は61%となり、自分のよさに対する自覚が減っている。

新学習指導要領(道徳)中学年の内容項目に「自分の特徴に気付き、よい所を伸ばす。」が新しく追加された。



### 児童の実態

周囲の友達に合わせようとする気持ちが強く目立つことを嫌う傾向にあり、自分のよさに対する自覚が弱い。



### 自分の指導を振り返って

道徳の時間で気付いた価値を体験活動に生かせるよう意識して指導はしてきたが、児童の意識を継続させることが難しかった。



## 研究のねらい

道徳の時間を要として、総合的な学習の時間と学級活動を関連づけた、3つの過程をもつ総合単元的な道徳学習に取り組みさせることで、自分のよさを伸ばそうとする児童を育てる。

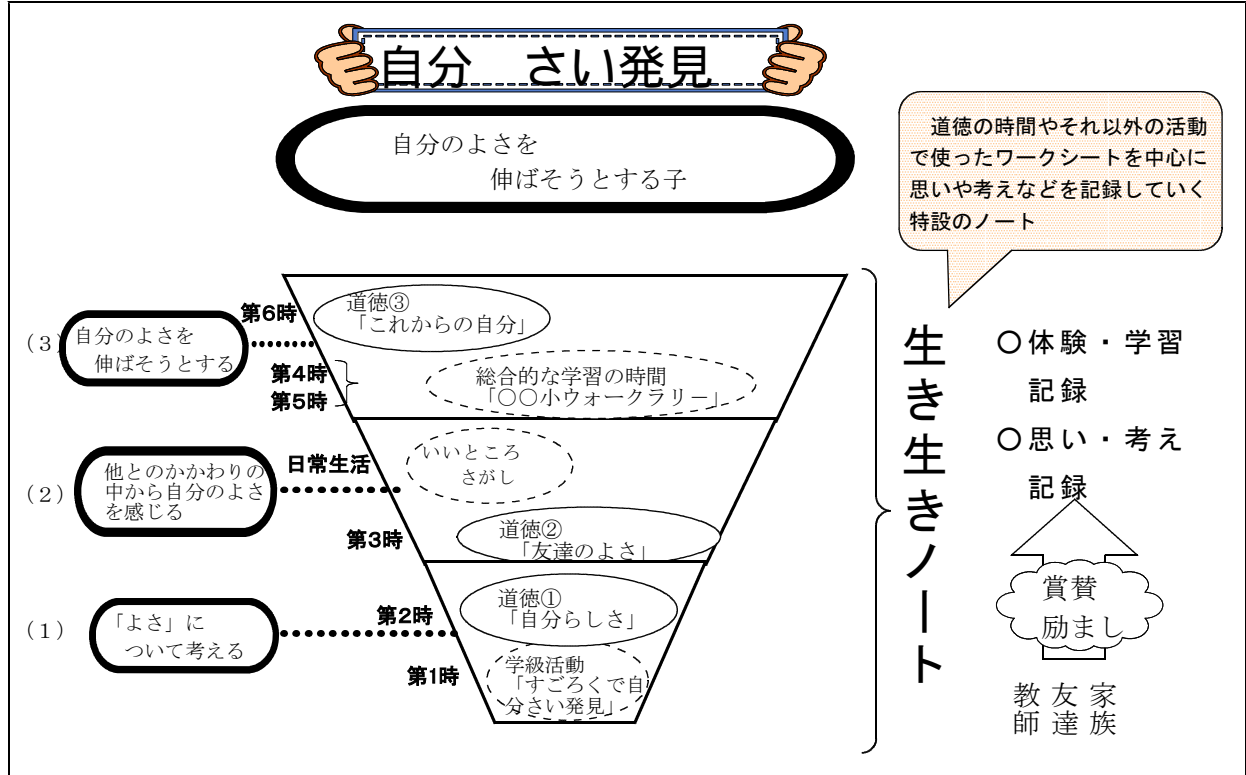


※「自分のよさを伸ばそうとする」とは、自分のよさに対する自覚が深まり、そのよさを実感し、継続して、自分のよさを発揮しようとする意欲をもつことと考える。

# 全体構想図

小学校3年生における実践

自分のよさを伸ばそうとする児童を育成するために、自分のよさに対する自覚を深めそれが実感へとつながっていくような3つの過程を設定した。



## (1)「よさ」について考える過程

児童が「よさ」について幅広く考え、よさを発揮しようとする意識をもつ過程

### 第1時 学級活動

「すごろくで、自分さい発見」

自他のよさをお互いに出し合い、日常生活に見られる「よさ」を幅広く見つめ直す。

- ・よさがいっぱいあるんだな。
- ・自分のいいところもわかった。

### 第2時 道徳①

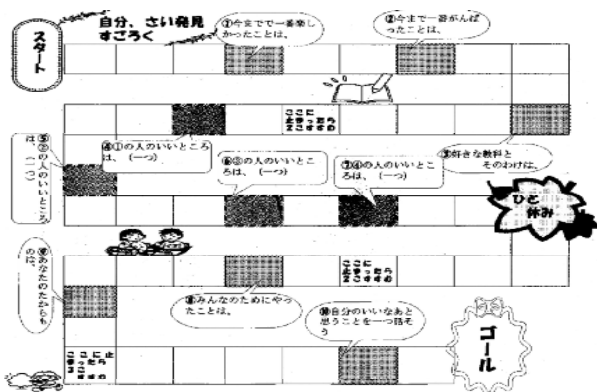
「自分らしさ」1-(5) 個性伸長

資料「しょうぼうじどうしゃ じふた」(福音館書店)

- ・小さくてもやくに立てるんだな。
- ・自分も一回ぐらいはかつやくしたいな。

「よさ」を発揮したときの気持ちを考え、「よさ」を発揮する心地よさに気付く。

「自分、さい発見すごろく」(第1時)



## (2) 他とのかかわりの中から自分のよさを感じる過程

### 第3時 道徳②

「友達のよさ」 2 - (3) 友情  
自作資料

日常生活に見られる「よさ」の中から、自分のよさを周りの人から伝えてもらい、自分のよさに対する自覚を深める過程

- ・よし子（主人公）さんみたいな人になりたい。
- ・いいところを言ってあげたりすると人が元気になるんだな。

よさを伸ばすためには、周りの人とのかかわりが大切だということに気付き、お互いのよさを見付け合おうとする意欲をもつ。

#### 日常生活

#### 「いいところさがし」

※日常生活に見られる友達のよさを付箋紙に書き、交換し合った。

友達から伝えられたよさを読み、自覚を深める。

- ・友達のいいところを探すのは、楽しかった。
- ・うれしいことがたくさんあった。
- ・自分のよいところを書いてくれたのがうれしかった。

## (3) 自分のよさを伸ばそうとする過程

### 第4時 総合的な学習の時間

「〇〇小ウオークラリーをせいこうさせよう」

自分のよさを実感することで、さらに自信をもち、これからも継続して自分のよさを発揮していこうとする意欲をもつ過程

これまでに気付いた自分のよさを生かして役割分担をし、ウオークラリーをしようとする。

#### 役割分担

役割分担時の個別支援に使用したもの（第4時）

氏名	ウオークラリーの班	伸ばしてほしいよさ
〇〇〇〇	こすりだし	話すこと
△△△△	オナモミ	大きな声が出せる。
◇◇◇◇	見	

- ・（文字が丁寧な子）字をきれいに書くよ。
- ・（大きな声が出る子）大きな声でがんばるよ

児童のこれまでの気づきが不十分などかき、新たな視点を与えるために教師が前もって一人一人のよさを考えておいた。

### 第5時 総合的な学習の時間

「〇〇小ウオークラリー」

ウオークラリーを行い、自分の役割を果たすことで、自分のよさを実感する。

#### 実践

- ・司会が大きな声でできたよ。
- ・絵をほめられたよ。

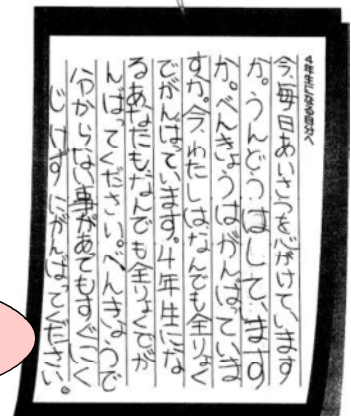
### 第6時 道徳③

「これからの自分」 1 - (5) 個性伸長  
資料「生き生きノート」に書かれた自分のよさ

自分のよさを見つめ、これから自分のよさを伸ばしていこうとする意欲をもつ。

#### 振り返り

生き生きノート④道徳く

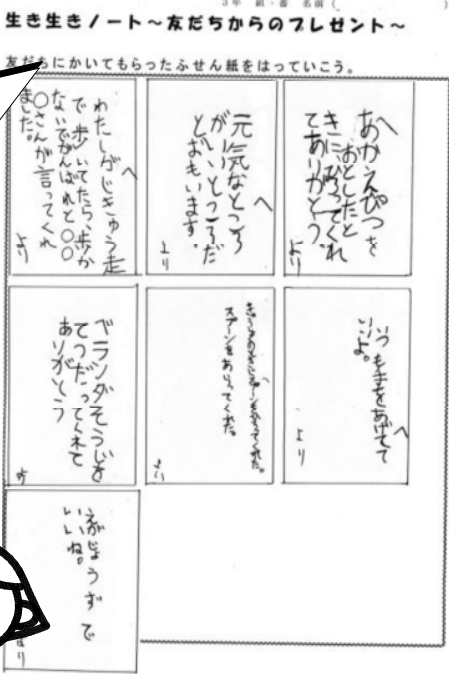


これからの自分へのメッセージ  
(第6時)

# 生き生きノート

「いいところさがし」で書かれたこと  
(第3時終了後)

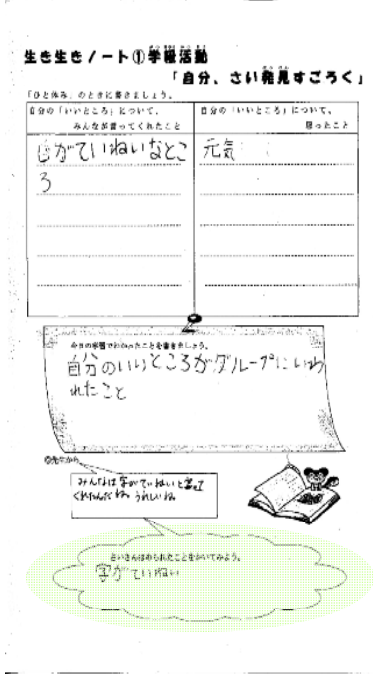
自分のよさとして、様々な具体的な姿を振り返り、自分のよさに対する自覚を深めた。



「自分、さい発見すごろく」の  
「生き生きノート」(第1時終了後)



事前に書き込ませ、道徳の時間の意図的指名に生かした。



# 研究のまとめ

## 成果

3つの過程の学習を通して、よさに対する意識を高め、自分のよさを実感したことで、そのよさを継続して発揮しようとする意欲が見られるようになり、自分のよさを伸ばそうとする児童を育成することに有効であった。

「生き生きノート」を活用したことで、児童はよさに対する意識をつなぐことができた。また、教師は児童のよさに対する思いの変化を継続して見取ることができ、個別支援に生かすことができた。

## 課題

自分のよさに対して意識の深まりには個人差があるので、さらに効果的な個別支援を行える工夫を考えていきたい。

4年生では、長所だけでなく短所にも目を向けさせ、自分の特徴全体をとらえさせる道徳指導を行うための授業構想を考えていきたい。

問い合わせ先 群馬県総合教育センター  
担当係：研究企画係 0270-26-9212 (直通)